

みなさんと一緒に、希望のもてる地域づくりを進めます！



はっとり 服部のりふみ

後援会事務所（自宅）

〒509-7401 恵那市岩村町飯羽間 3126 番地
TEL/FAX 0573-43-3835
E-mail norifumi@ccm.enat.jp



日々の活動は、フェイスブックをご覧ください！

<https://www.facebook.com/hattori.norifumi/>

新年明けましておめでとうございます。早いもので、議員に当選した余韻に浸る間もなく、もう 12 月議会も終了しました。この議員活動報告は、議会定例会（3 月、6 月、9 月、12 月）ごとに定期的に発行していく予定です。

政治に関心を少しでも持っていただき、皆さんと情報共有を図りながら地域づくりを進めて参りたいと考えていますので、皆さんのご意見やご希望などお聞かせ下さい。

12 月議会定例会の内容

11 月 30 日	議会全員協議会	議案等の説明が、担当課長からありました。
12 月 7 日	議会本会議（議会人事）	議会から特別委員会の設置案が上程、可決され、その他、正副議長や各委員会の選挙、選任が行われました。（P 4 参照）
12 月 8 日	議会本会議（議案上程）	執行部からは 86 件の議案が上程され、内、一般会計補正予算（その 1）1 件が議決され、専決処分の 4 件及び人事案件の 19 件が承認、その他 62 件が常任委員会へ付託されました。（P 4 参照）
12 月 14 日	総務文教委員会	14 件が承認されました。（所管部分承認 2 件）
12 月 15 日	市民福祉委員会	25 件が承認されました。（所管部分承認 2 件）
12 月 16 日	経済建設委員会	26 件が承認されました。（所管部分承認 1 件）
12 月 22 日	一般質問	佐々木透、太田敦之、安藤直実、服部紀史、町野道明、平林多津子の 6 名が登壇
12 月 23 日	一般質問	秋山佳寛、林貴光、伊藤勝彦、山内敏敬、猿渡南江、後藤康司の 6 名が登壇
12 月 25 日	議会本会議（採決）	常任委員会に付託されていた 62 件が委員長による報告のもと、一件ごとに審議され、本会議において全て可決されました。

会派での活動

市政に対して、同じ考えや意見を持っている市議会議員が集まり、自分たちの考えを効果的に市議会に反映させるため、グループをつくって活動しています。これを「会派」といい、恵那市議会では、2 人以上の所属議員を有し、議長に届け出のあったものを「会派」と認めており、選挙後の現在の状況は次のとおりです。

新政会＜11 名＞	日本共産党＜2 名＞	無所属＜5 名＞
堀 光明（5 期）	猿渡南江（1 期）	町野道明（5 期）
後藤康司（4 期）	平林多津子（1 期）	安藤直実（4 期）
鵜飼伸幸（4 期）		佐々木透（2 期）
千藤安雄（3 期）		秋山佳寛（1 期）
中嶋元則（3 期）		山内敏敬（1 期）
西尾 努（3 期）		
柘植孝彦（2 期）		
伊藤勝彦（1 期）		
服部紀史（1 期）		
太田敦之（1 期）		
林 貴光（1 期）		

議会開会日での自己紹介(ちょっと緊張気味！)



私は、新政会に所属し、先輩議員からの指導、助言をいただきながら、一日も早く一人前と言われる議員になれるよう頑張っています！

一般質問(概要)

一般質問とは、議員が市の仕事全般について、現状やこれからの考えについて質問したり、政策提言を行うことができるもので、定例会だけで行われます。

今回の私の一般質問では、選挙で訴えてきました、「希望のもてる地域づくり」をテーマに、今回は「特色ある地域づくり」をメインにとりあげ、岩村の課題等を地域計画、地区防災計画、地域福祉計画に沿って執行部の考え方などを確認しました。

以下に主な質問と、執行部からの答弁を紹介します。

○「地域の特色をいかしたまちづくりの推進」＜地域計画＞

Q 岩村地域計画において、岩村の観光まちづくりのバイブルと位置づけている「岩村グランドデザイン」が作成されています。作成当時、地域協議会から建議として市長へ提出されていますが、その後の市役所内部での取り扱いや進行管理等はどのような状況にあるのか？

A 観光まちづくり指針であることから、今後も、市観光交流課が主管となり、関係課等と連携を取りながら取り扱います。未着手や検討段階にあるものは、地域協議会において年1回開催されることになっている進行管理会議などを通じて、事業整理を行い、地域の方々と連携を取りながら進めていきます。(商工観光部長)

Q 特に最近の観光客の増加に伴い、慢性的な駐車場不足の解消が必要となっていますが市の認識や考えは？

A 年々、岩村城下町を訪れる観光客の増加に伴い、特に大規模なイベント開催時や、大型連休期間、秋の行楽期において、駐車場不足が発生しており、課題であると認識しています。(商工観光部長)

Q まだまだ一流の観光地を目指すには、いろんな環境整備が必要であると考えます。ひとつには、町民と観光客を区別するゾーニングを念頭に置いたまちづくりを考えるべきではないか。特にグランドデザインは、フィールドミュージアム化を進めるべきとしていることから必要であると考えていますが、市の考えは？

A 住民生活も含めた面的な効果や影響を念頭に置いた整備を進める必要があると考えます。そのためには、住民の生活面と観光客の観光面とを区別したゾーニングの確保が大切であり、持続する観光地の条件であると言えます。今後、観光施設の整備を進めていく上では、町全体が博物館であり観光資源であるフィールドミュージアム構想につながるよう、ゾーニングを念頭に置いてまいります。(商工観光部長)

○「地震、豪雨といったこれまでに経験したことのない災害への備えの推進」＜地区防災計画＞

Q 伝建地区の防災対策は、平成16年度に当初の防災計画策定調査報告書が策定され、平成22年度には改訂版が策定されていますが、残念ながら改訂版においては、平成27年度までの計画となっています。地区防災計画もその後に策定されていますので、そうしたものととの整合を図りながら早急に考え方を整理して頂きたいと考えますが如何でしょうか？

A 伝建地区防災計画として、現状更新されていない状態ですので、今後、文化庁などの指導助言をお願いし、保存会や地区の住民の意見を伺いながら改訂してまいりたいと考えています。(教育委員会事務局長)

Q 伝建地区内の住民の方は火災発生時の延焼が一番気がかりであり、特にいつ来てもおかしくないと言われている南海トラフ巨大地震が発生した場合、建物倒壊による火災が最も懸念されるところで、伝建地区周辺には一時避難所としての防災広場など、適宜整備する必要があるのではないかと考えますが如何でしょうか？

A 伝建地区は、住宅が密集しているため、災害時に避難できる広さのスペースが少なく、住民が避難できる広場の設置・確保は重要であると考えするため、伝建地区防災計画時に地域の皆さんの意見を伺いながら防災拠点整備について考えていきます。(教育委員会事務局長)

○「高齢化が進展する中でも安心して暮らせる社会の充実」＜地域福祉計画＞

Q 岩村と山岡地区において、本年で3年目を迎えているデマンド方式の地域運行バスの現状と、利便性の向上に対する取り組みについてお聞かせ下さい。

A 山岡地区は利用者の増加がみられているが、岩村地区はコロナ禍等の影響もあり利用者は減少している。岩村地区では利便性向上に向けて地域路線利用促進協議会を定期的に開催し、バス停を増やしたり、前日までの予約を当日でも可能とする試行を行ったりと対策を講じている。引き続き、地域の意見や協力を得ながら、高齢者が安心して生活できる支援に取り組んでいきたい。(まちづくり企画部長)

○「地域で子育てを支えられる環境の充実」＜地域福祉計画＞

Q 地域福祉計画では、岩村地域内に子供の遊び場を設置し、子育てしやすい環境の整備を進めることとしています。公園整備においては、市民意識調査の実施などを経て、市役所内部で検討が進んでいると思いますが、現在の検討状況をお聞かせ下さい。

A 10月から公園を管理している全ての課による検討会を開催し、管理計画を今年度中に作成することとした。現在の検討状況は、各課で公園の状況を確認して管理台帳を作成している。また、遊具のある公園がほしいということから中央公園に整備するよう、中央公園改修検討委員会を立ち上げ検討を現在行っている。(建設部長)

○岩村の地域課題の総括と提言

Q これまで質問させていただく中で、岩村地域においては、観光面における駐車場の不足問題であったり、防災面においては伝建地区周辺における防災広場等の確保であったり、子育て環境の面からは公園整備であったり、個々の対策の中での事業化は難しいと思われるが、これらの課題を一挙に解決できる複合的な多目的広場等の整備を一箇所で検討したらと考えますが如何でしょうか？

A 今後、地域での検討も進めていただき、議員ご提案の広場についても、地域と行政各担当課と振興事務所の連携・調整をとりながら、具体策を検討していくことになる。(まちづくり企画部長)

○恵那市全体の特色ある地域づくりに向けての提言

Q 今回は岩村を例に取り上げましたが、今回の例を見ても地域単位で策定された計画を丁寧にみると、ハード整備を含んだ課題が浮き彫りになることもあります。是非、今後においては地域のまちづくりのキーワードに“丁寧”を加えていただき、各地域での特色のある取り組みを丁寧に見て、聞いて画一的な支援から地域の特性をいかした柔軟な支援へと、支援のあり方について検討していただきたいと考えますが如何でしょうか？

A 地域自治体が、地域課題の解決や地域の特性をいかしたまちづくりを推し進めるために、地域振興基金や人口減少対策基金、ふるさとえな応援寄附金を活用した支援を行い、ハード整備を含めた地域の自治力を高めていきたい。各地域が勢力的に取り組まれている事項に対して、より効果的かつ柔軟な支援ができるよう努め、「担い手」としてより主体的なまちづくり活動を盛り上げていきたい。(まちづくり企画部長)

初議会を終えて

選挙が終わり、ひと息つく間もなくの議会でしたが、議会对応は市役所の部長とし4年間の経験があったものの、上程された議案の確認や一般質問の準備など、慌ただしく過ごすことになりましたが、最低限のことはできたかなと考えています。また、他の議員の一般質問の市長答弁では、旧岩村庁舎の活用に向けて、岩村地域運営協議会からの要望も踏まえ、来年度、調査費を計上していきたいとの前向きな発言もありましたので、期待したいと思います。

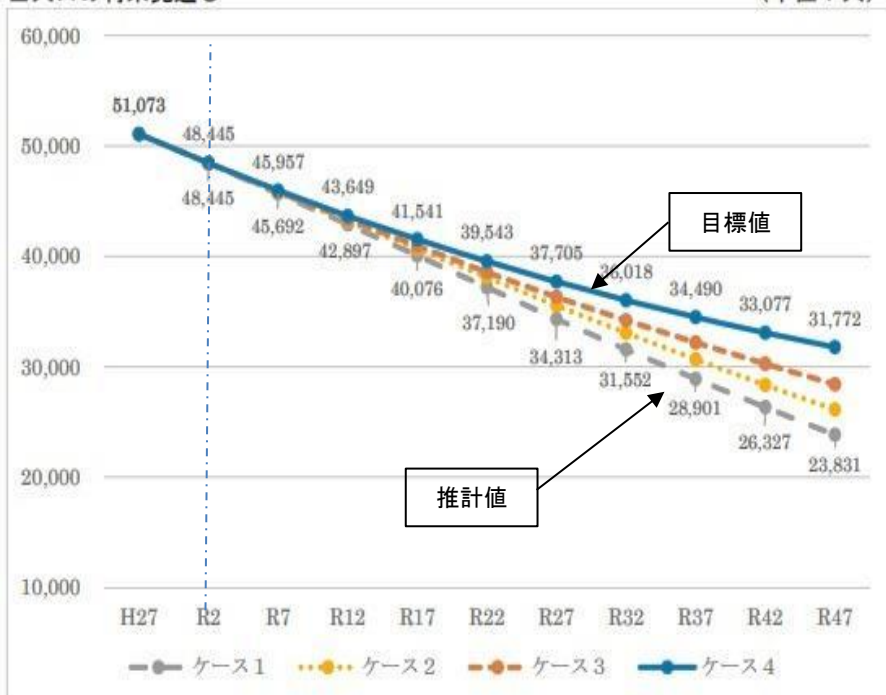
次の定例会までには、まだまだやりたいことが沢山ありますが、焦らずひとつずつ丁寧に皆さんからのご意見を聴きながら取り組んで参りたいと考えていますので、よろしくお願いします。

皆さんに考えて欲しいこと(人口ビジョンから)

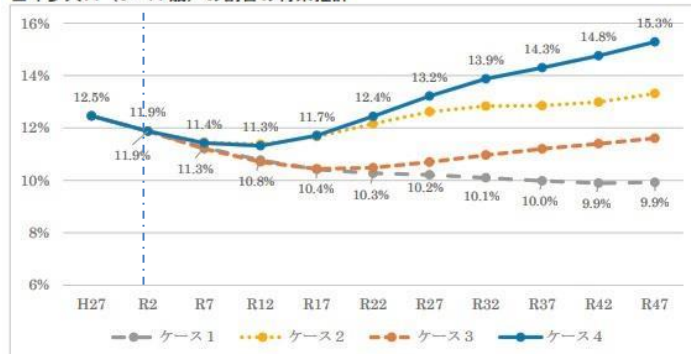
下図は、昨年10月に策定された第2期の恵那市人口ビジョンです。45年先の令和47年でも、人口の下げ止まりが見えてこないのが大きな問題です。更に少子、高齢化も進展し、何も対策をしないケース1から、国・県と伴に対策を講じた場合のケース4までの見通しが示されました。市の対策として、来年度から第2期まち・ひと・しごと総合戦略(R3～R7年度)に基づく事業が展開されますが、それだけで解消できる問題ではないと思います。皆さんの意識改革や具体的な行動に繋げる取り組みも必要と考えています。そのために、まずは、正しく人口の今後の推移を理解していただくことが必要と感じ、取り上げさせていただきました。

■人口の将来見通し

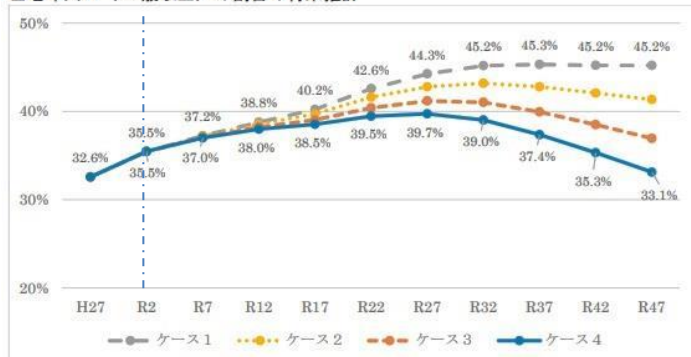
(単位：人)



■年少人口(0～14歳)の割合の将来推計



■老年人口(65歳以上)の割合の将来推計



詳しくは、恵那市総合戦略・人口ビジョンサイトをご覧ください。

議会人事

議会は、能率的・効果的に審議を行うため常任委員会を設置しています。人事案件以外は、常任委員会に付託され審議されることが通例です。（正副議長や委員会の任期は、申し合わせにより1年となっています。）

- 議長 鵜飼 伸幸（三郷町）
- 副議長 千藤 安雄（東野）
- 常任委員会

総務文教委員会	6人	◎中嶋元則 ○太田敦之 ・林 貴光 ・山内敏敬 ・平林多津子 ・後藤康司	総務部、まちづくり企画部、消防本部、消防署、教育委員会、会計課、他の常任委員会の所管に属しない事項
市民福祉委員会	6人	◎町野道明 ○伊藤勝彦 ・猿渡南江 ・西尾 努 ・安藤直実 ・鵜飼伸幸	市民サービス部、医療福祉部の所管に属する事項
経済建設委員会	6人	◎堀 光明 ○服部紀史 ・秋山佳寛 ・佐々木透 ・柘植孝彦 ・千藤安雄	商工観光部、農林部、建設部、水道環境部、農業委員会の所管に属する事項

- 議会運営委員会

議会運営委員会	9人以内	◎後藤康司 ○柘植孝彦 ・伊藤勝彦 ・平林多津子 ・堀 光明	議会をスムーズに運営するため、議会の進め方や審議する中味について前もって話し合い調整する。
---------	------	-----------------------------------	---

- 特別委員会

瑞浪恵那道路・新丸山ダム建設促進特別委員会	7人	◎柘植孝彦 ○林 貴光 ・山内敏敬 ・秋山佳寛 ・服部紀史 ・中嶋元則 ・千藤安雄	国道19号瑞浪・恵那間のバイパス建設促進に係る諸問題を調査研究する。
広報広聴特別委員会	7人	◎佐々木透 ○服部紀史 ・平林多津子 ・中嶋元則 ・安藤直実 ・町野道明 ・堀 光明	議会広報の編集発行を行うと共に、議会の活動等を広く市民に公開し、周知するための調査研究を進める。
リニア中央新幹線対策特別委員会	7人	◎後藤康司 ○西尾 努 ・太田敦之 ・伊藤勝彦 ・猿渡南江 ・町野道明 ・堀 光明	リニア中央新幹線の建設に係る諸問題について調査研究する。

※ ◎は委員長、○は副委員長です。

議決内容(主なもの)

- 専決処分の承認（4件）

人事院勧告に基づき、市長や議員、職員等の期末手当を今年から年間0.05月分引き下げるもの。

- 条例の制定（1件）

大井町で整備中の明治天皇行在所の活用条例を定めるもので、令和3年4月1日開所予定。

※岩村へ移築計画のあった市指定文化財の長屋門も、この行在所に移築されます。

- 条例の一部改正（4件）

法令等の一部改正に伴う軽微な改正のものが4件、正家第二区画整理事業の完了に伴い住所が変更になり公園条例を改正するものが1件でした。

- 補正予算（8件）

一般会計（その1）がコロナ対策関係で、一般会計（その2）ほか特別会計並びに事業会計の全ての会計においては、人事院勧告及び4月の人事異動に伴う人件費関係の補正が主なものでした。

※一般会計（その2）では、岩村デイサービスセンターの特殊浴槽1台の更新が予算化され、マレットゴルフ場へ通ずる市道（旧小沢街道）の災害復旧工事の年度内完成が見込めず（5月末日完成予定）繰越手続きがとられました。

- 人事案件（19件）

任期満了に伴う監査委員、公平委員、固定資産評価審査委員、遠山財産区管理会委員、上財産区管理会委員及び教育委員会委員の選任に関するものでした。

- その他の議案（50件）

小中学校ネットワーク整備事業の契約変更ほか、指定管理者の指定が49件でした。

※岩村町内の指定管理施設（カッコ書き内は指定管理先で、期間は令和3年度から5年間で、管理者は現状から変更はありません）
上町まちなか交流館（ホットいわむら）、木村邸他（観光協会）、福祉センター及びデイサービスセンター（社会福祉協議会）、いきがい会館（シルバー人材センター）、まち並みふれあいの館（観光協会）、地域特産物販売所（有地域特産物販売所）、岩村駅前自転車駐輪場（明知鉄道株）

※いずれの議案も賛成しました。詳細は、後日議会事務局から発行される「議会だより」をご覧ください。